家庭や地域と共にある学校~共育(きょういく)~

带広市立北栄小学校 学校便り 10号



《めざす子ども像》

- ▶自らすすんで学ぶ子ども
- ▶互いを認め合い自分と相手を大切にする子ども
- ▶健康や安全に気を付ける子ども

令和 6 年8月30日 発行者 柴山 敬 http://www.hokuei.obihiro.ed.jp/

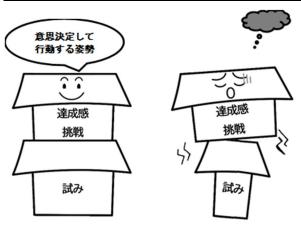
主体性を育みたい! 意志決定して行動する姿勢を促すために

8月27日から2学期が始まりました。1学期の終業式では「自分でできること、できそうなことに「『自分のことは自分で』を意識して行動し、『かっこいい自分』を目指してみよう!」と呼びかけました。始業式で夏休みをふりかえってどうだったかと尋ねると、「できた!」「できなかった・・」などの反応がありました。2学期以降も子供たちには「自分のことは自分で」を意識して行動することを期待しているところです。

「試み」を大事に!

さて、今年5月に発行した学校便り第4号で今年度の教育の重点について「試み」「挑戦」「達成感」の3つのキーワードを紹介しました。本校の子供たちには、「意志決定して(主体的に)行動する姿勢」を身に付けてほしいと思い、これらのキーワードを設定しています。

「試み」は、学校や家庭での日常生活で自分が やらなければならないことや、向き合わなければ ならない課題に対して(結果を問わず「一歩踏み 出し行動する」という)「責任」の意識を育てる



<u>もの</u>です。「挑戦」「達成感」は、授業や行事などでの学びを通じて自己を高め、意思決定して行動できるようにするものです。

とりわけ<u>「試み」は、「挑戦」「達成感」の「学びの土台」となるもの</u>で、この土台が不安定な状態だと、「挑戦」「達成感」の取組による成果(学びや成長)は得られにくくなります。

学校と家庭がともに「試み」を大事にしながら、 子供たちが「自分のことは自分で」を意識して行動できるように取り組んでいきましょう!

(※詳しくは本校ホームページ「教育活動」をご覧ください。)

日	曜	9月の行事予定
3	火	3年生バス学習 にじいろタイム④
5	木	クラブ④ Sアップ 読み聞かせ(3年)
6	金	劇団四季鑑賞 ラリー北海道出前授業4年
7	±	北栄元気クラブ
9	月	プール学習(3・2・5年)
11	水	修学旅行① 地域防災訓練(3年) 帯広・十勝の民話を楽しむ(4年4校時)
12	木	修学旅行② 読み聞かせ(2年)
13	金	6 年生休業日
14	±	北栄こども祭り
18	水	プール学習(6・1・4年)
19	木	後期児童会役員選挙 読み聞かせ(1年)
20	金	開校記念日
24	火	宿泊学習①
25	水	宿泊学習② Sアップ にじいろ面談週間(~10/4)
26	木	クラブ⑤ 読み聞かせ(3年)
27	金	プール学習(3・2・5年)
28	±	北栄元気クラブ
30	月	あゆみ配布 交通環境(バス)学習(1年)

地域ぐるみで子供を育てる 夏休み中の学校支援活動

本校の学校支援地域本部コーディネーターの 江藤敏雄さん(本校コミュニティ・スクール協議 会委員長)が中心となり、子供たちに夏休み中の 体験活動の場を提供してくださいました。江藤さ んをはじめ、運営にご協力いただいた皆様に感謝 申し上げます。ありがとうございました。

学習スタジアム

昨年に引き続き、7月24日、26日に「北栄 げんきクラブ」やボランティアが参加して「北栄 小学習スタジアム」を開催しました。会場には暑 さ対策としてスポットクーラーや扇風機を使用。 2日間で延べ50名の児童が参加しました。



活動の前半は学習の時間。子供たちは夏休み中の宿題やタブレット端末を持参し、それぞれがその日の目標や計画を意識して取り組みました。



後半は、風鈴作りとディスコン体験。風鈴作りは「北栄げんきクラブ」の安田和恵さんが指導してくださいました。子供たちは鈴や短冊に夏らしいイラストを描いたり、願い事などのメッセージを書いたりしていました。ディスコン体験は、江

藤さんが指導してくださいました。子供たちは2 グループに分かれ、ポイントをめがけて、真剣な 表情や笑顔を浮かべながら楽しそうに取り組ん でいました。



ラジオたいそうの集い

ラジオ体操は7月下旬~8月上旬にかけて雨 天を除き5日間開催。毎週土曜と日曜の朝7時に 児童や保護者が本校グラウンドに集まり、ラジオ 体操のリズムに合わせて体を動かしました。



昨年よりも長い34日間の夏休み。規則正しい生活を意識することはとても重要なことです。体操の合間には、子供たちと地域の方が休み中の出来事などを話題に交流する場面も見られました。体操が終わった後、子供たちはラジオ体操カードにスタンプを押してもらい「次回も来る!」と嬉しそうにしていました。

